

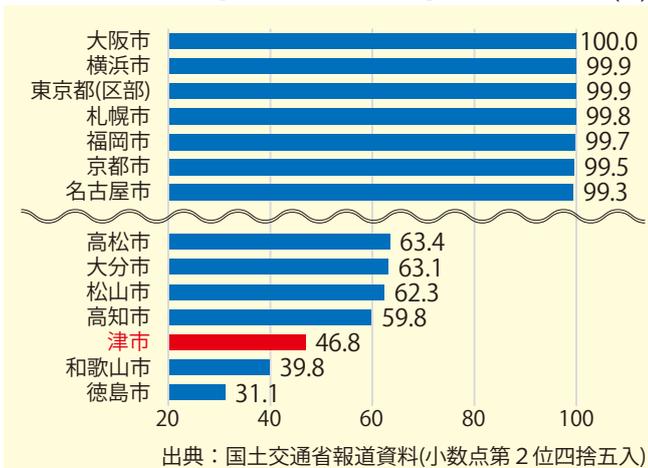
下水道を使える地域を増やすために

女 なかなか借入金の残高が減らないということだけど、まだ新しい工事をしないとイケないの？

男 環境保護や公共下水道の未整備地域の解消のためにも、まだまだ必要な工事が多いんだ。

女 津市の下水道はどのくらい普及しているの？

県庁所在地 下水道処理人口普及率 (平成29年度末) (%)



男 公共下水道が使える人口を総人口で割った数値を下水道処理人口普及率というんだけど、津市は46.8%*で、全国的にも低いんだ。

*13万931人 ÷ 27万9,857人 = 46.8% (平成29年度末現在)

女 全国の県庁所在地で下から3番目なんだね！なぜ津市の普及率はこんなに低いのか？

男 津市はこれまで、浸水被害を防ぐための雨水対策が必要だったり、志登茂川浄化センターの整備に時間がかかったりした



志登茂川浄化センター

こともあって、下水道の整備が遅れたんだ。でも平成30年4月に志登茂川浄化センターが使えるようになったから、普及率を伸ばしていけるように下水道の整備を進めていくよ。

女 まだまだ整備に費用が必要なんだね。

健全経営のためには？

男 下水道の健全経営のためには、何年も先のことを考えて事業を進めなくてはイケないんだ。

女 どんなことに取り組んでいるの？

男 まず光熱費や燃料費など身近なところから無駄を省いているんだ。また污水管に地下水や雨水が誤って入ってしまうと処理水量が増えるから、調査をして少しでも必要のない処理水量を減らす努力もしているよ。

女 無駄な処理水量が減れば、その分費用も減らせるね。他には？

男 工事する場所を選ぶ時には、少ない工事でもより多くの方が下水道が使えるように、効率的な整備を考えているんだ。あと、工事する時には、適切な施工方法の選択や、小型でコストを抑えたマンホールの採用など、低コストに抑える努力もしているんだ。

女 工事方法を使い分けることで経費を抑えることが大切なんだね。

男 老朽化した下水道管の修理をする時は、道路を掘り返さず内側を特殊な加工で改築する管更生工法も取り入れているんだよ。

管更生工法ビフォー&アフター



きれいになったね！
道路の通行止めも短くて
済むからうれしいな



道路を掘り返さず
内側から補修することで
工事費を抑えられるんだ

女 いろいろな技術が使われているんだね。

男 削減できない費用もあるけれど、それ以外の部分でさまざまな取り組みをしているんだ。

今回は、下水道使用料の考え方と公共下水道以外の汚水処理についてお話しするね。